

# 泌尿器科

## 1 研修目標

### (1) 一般目標 (GIO)

日常診療で必要な泌尿器・男性性器疾患の診断および処置を的確に施行できることを目的として、基本的な泌尿器科特有の手技および診断能力を修得する。更に、実際の検査・手術・周術期管理の経験を通して、より幅広い知識・手技・診療能力を涵養する。

### (2) 行動目標 (SB0 s)

- ① 指導医とともに泌尿器科診療における基本的な診察手技・検査手順および手技をとおして、的確な診断方法を習得し、各種の病態を正確に把握する。
- ② 他のパラメディカルとの、協調性を育むとともに、患者およびその家族との対応を通じて接遇方法を習得する。
- ③ 手術に参加し、基本手技・周術期管理の実際を経験し、体得する。
- ④ 自ら学ぶ態度を基本姿勢として、知識・技術に対し、貪欲でなければならない。
- ⑤ 幅広い教養を身につけるよう、趣味を広げよう。何でもできた方が良く、何でも知っていた方がよい。
- ⑥ 外来患者の診察に加わり、そこから推測される疾患や病態、診断に至る必要な検査手順を学ぶ。

### (3) 学習方略

行動目標	方法	場所	担当者
① ④、⑤、⑥	実地診療 (病棟回診) 実地診療 (外来診察)	病室、外来	全員
②、④、⑤	病棟回診	病室、外来	全員
③、④、⑤	実地診療 (手術)	手術室	全員
④	症例検討会 特殊処置	カンファレンス室 外来	全員
④、⑤	抄読会	カンファレンス室	全員

## 2 研修方法

### (1) 研修期間

1～3か月間の研修を行う。

### (2) 方法

- ① 朝は前日の入院患者の状態を把握し、指導医に報告し、自らの判断を述べ、指導医の

指示を仰ぐ。

- ② 入院患者の点滴を行う。
- ③ 病棟回診を指導医とともにいき、疾患管理・接遇・問題把握・問題解決の実際を学ぶ。
- ④ 手術見学・助手として参加し、指導医の援助の下で手技を習得する。先輩の叱咤に耐える忍耐力・精神力も併せて養成する。

手技の習得を心懸ける。手技は教えてくれない。自ら獲得するものである。

- ⑤ 術前カンファランスにて、画像診断を含む診断の実際・手順・経過を学ぶ。
- ⑥ 手術を含めた、治療の適応と実際・経過・結果・反省点を学ぶ。
- ⑦ 抄読会（毎週1回）および院内セミナーなどに参加・報告し、泌尿器科学の医学水準の理解に努める。

### (3) 週間予定表

曜日	午前8：15～	午後	夕刻
月曜日	申し送り・病棟回診・手術	手術・外来	
火曜日	申し送り・病棟回診・手術	手術	
水曜日	申し送り・病棟回診・手術	手術	症例検討会(カンファレンス)
木曜日	8：10～抄読会 病棟回診・手術	手術	
金曜日	申し送り・病棟回診・手術	手術・外来	

### 3 研修計画責任者

泌尿器科 部長 永田 真樹

### 4 研修指導医

泌尿器科 副部長 井上 淳

泌尿器科 医員 千葉 量人

泌尿器科 医員 布施 美樹

### 5 評価

- (1) 研修医は別添の研修目標に従い自己の研修内容を記録し、手術症例においては、手術所見も記載し、指導医に提出し、指導および評価を受ける。
- (2) 看護師・薬剤師などコメディカルスタッフも、研修医の研修態度の評価に加わる。
- (3) 毎月、研修医と指導医双方で研修目標の達成度状況の評価する。
- (4) 指導医は、研修終了時に目標の達成状況を判定し、評価表に基づき評価し、研修管理委員会に報告する。
- (5) 研修管理委員会は、結果を踏まえて指導医および診療科に、指導を行う。
- (6) 全体の評価を通じて、研修管理委員会は研修終了の判定を行う。